

目指せ！プロ野球選手！！ 益城町少年野球教室



子どもたち優しく語り掛ける柴原選手

12月26日、町民グラウンドで、今年も益城町少年野球教室が開催されました。これは「益城町からプロ野球選手を！」を合言葉に、町内の少年野球の技術向上と、プロ野球選手との親ほくと交流を図る目的で、福岡ソフトバンクホークスの協力を得ながら、町教育委員会と町野球連盟（森上祐一会長）の共催で毎年行われているもので、今回で6回目を迎えます。



子どもたちとキャッチボールする神内選手



正しい捕球法を指導する金子選手

人が講師として招かれました。子どもたちは、キャッチボールで体を温めた後、投手・捕手、内外野手に分かれ、投手はボールの握り方や腕の振り方、投球動作を一人ひとりチェックしてもらいました。捕手は、ミットの構え方、セカンドへの送球動作などを学びました。また、内外野手はノックを受けながら基本的な捕球動作と送球の指導を笑顔で優しく受けました。

最後は全員がバッティング指導として、グリップを握る位置やフォームなどの細かい指導を受け、とても和やかな野球教室となりました。

この野球教室の指導やアドバイスがいつの日か大きく実り、ぜひ益城町から未来のプロ野球選手が誕生してもらいたいものです。

若い力を海外へ！！

青年海外協力隊員 畑野千鶴さん(下小谷)

12月19日、JICAボランティア青年海外協力隊（平成20年度3次隊）隊員として、ベトナムに派遣されることになった畑野千鶴さんが、住永町長を表敬訪問しました。

畑野さんは、首都ハノイから南西方向に約85km離れたホアビン省ドンタム村で2年間、主に農業普及指導員として、野菜栽培を中心とした農業技術の向上を目指すために活動されます。

畑野さんに出発にあたり抱負をお伺いしたら「社会主義の国だから、活動に制限があるとは思いますが、自分なりに精いっぱい現地の方々を理解し、少しでも農業技術の発展に寄与できるように活動していきたい



笑顔で町長を訪問した畑野さん(左)

です」と目を輝かせながら語られました。ご活躍をお祈りします。

陸上競技場の照明塔が完成

町総合運動公園陸上競技場点灯式

12月19日、町総合運動公園陸上競技場に高さ25.5メートル、明るさ250ルクスの照明塔4基が設置され、町関係者や(株)アスリートクラブ熊本のおかひでお社長、ロアッソ熊本の選手等が参加し、点灯式が行われました。

式では、住永町長や岡社長のあいさつの後、さっそく点灯台のスイッチが押されると、照明塔に眩しい灯りが灯り、競技場の隅々までを明るく照らしました。また、点灯式終了後には、ロアッソ熊本の選手たちが地元の園児、小中学生とのサッカー教室やミニゲームを行い、競技場初のナイトゲームを楽しみました。

これにより、競技場の夜間貸し出しが可能となり、町民のさらなる健康増進とスポーツの振興に寄与することでしょう。



初めてのナイターで行われたサッカー教室

